# かめやまで土は分けごより





社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会 社協だよりは市民の皆様からいただいている会費で発刊しています。

ともに支え合い、ともに暮らせる

## 地域福祉シンポジウム







**亀山市長** 櫻井 義之

今日様々な課題が多様化複合化する中で、行政の縦割りのシステムを超え、横の つながりを強め、総合的な支援のしくみを構築していく必要があります。そこで「地

域福祉力強化推進事業 | を活用し昨年度、社会福祉協議会 にCSWを配置しました。CSWと地域のみなさんの力を合わ せた「地域の総合力」が高まることで、「誰もが安心して暮ら し続けられる、亀山市 を目指していくのが、地域福祉計画 の根幹にある考え方です。



# 制度の

地域との交流が少ない60代前半の女性がお亡くなりにな りました。母と息子の二人暮しで、母の死亡後、長い間ひき こもりがちの息子さんとご連絡が取れなくなってしまいまし た。障がいのある方でもなく高齢者でもない、いわゆる「制 度のはざましであったかと思います。民生委員・児童委員は

日頃から 「見守り・発見・つなぐ」 活動を行っていますが、 仮に早期に気付いていて もどこにつないでいいかわからなかったと思います。このように複雑な課題を抱え ているであろう世帯や、民生委員・児童委員だけではなかなか介入しづらい家庭 を、今後CSWと一緒になって支援をしていけたらと思います。



**亀山市民生委員児童委員** 協議会連合会 副会長 小林 智子



**亀山市地域福祉推進委員会** 委員長 蒔田 勝義

CSWは歌舞伎でいう黒子で、主役は地域住民のみなさ んです。地域福祉を進めるうえで、主役が黒子を上手く 活用してはどうでしょうか。ぜひCSWを地域住民のみな

さんが育てていただければと思います。またキーワードの3つの輪はどれが中 心だとか、土台だとかはありません。行政や社協、地域住民がお互いに重なり 合い補い合い、連携・協力していくことが大切です。そういった形で、地域福 祉を進めていただければ「誰もが暮らしやすいふくしのまち亀山」になってい くのではないかと思います。

-1-

第2次亀山市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定から約1年。

多様化・複合化する福祉課題に対応すべく配置された、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)がどのように取り組んでいったのか―

1年間の活動報告も含め、約200名の地域住民参加のもと、亀山市・社会福祉協議会・まちづくり協議会・民生委員が一堂に登壇し、亀山市の"ふくしのミライ"について考えました。





亀山市社会福祉協議会 会長 棋谷 英一

CSWを配置したことで、窓口で相談を受けるだけではなく、社協職員自らが地域に出向き地域のみなさんの声を聞く、アウトリーチによって地域の課題解決に取り組

めるようになりました。今後、ちょこボラ\*をはじめとする地域住民同士のお互いの支えあい活動がより広まっていくよう、地域の中で温かいつながりづくりをできるCSWになっていきたいと考えています。

※地域でのちょっとした困りごとに対応できるボランティア「ちょこっとボランティア」の略



キーワード

高齢者支援の継承 "フレンドサービス" まちづくり計画を策定する中で、高齢者が安心・安全に暮らせるしくみが必要であると感じました。そこで、他県の先進地に視察に行き、ちょっとした困りごとに対応できるしくみが昼生地区でも必要であると再確認し、「フレンドサービス」を立ち上げました。草刈り、買い物支援などの助け合い支え合い活動を行っています。地域には潜在的

なニーズが隠れていると思うため、もっとPRをしていきたいと考えています。 今後こういった取り組みが各地域で広がるよう、CSWが関わってもらえればと 思います。



<u>屋生</u>地区まちづくり協議会 会長 田名瀬 寛之



地域福祉係長 鍬田 聡

CSWとしては、支援が必要な方のもとにできるだけ早く駆けつけられる体制づくりを行っています。気づきを得るために常にアンテナを張り、関係性を構築していくことで、早期発見・早期対応につなげていければと思っています。フットワークよく、地域の方と「協働」しながら、一緒に汗をかき(寄り添い)、関係機関も含め「共に動いて」いきたいです。

協働×共動

近年、福祉課題が複雑化している中、今までの高齢者や障がい者などの縦割りの 福祉制度では解決することが難しい事例が多くなってきています。また地域づくりを 進めていく上では、福祉という視点をもつことの必要性が求められています。

そのような中、行政と社協、地域の活動者の方々がともに集い、地域福祉について考えることができる土壌が亀山市にはあります。これは大きな魅力であり、福祉の亀山モデルだと感じています。このすてきな魅力を大切にしながら、ぜひみなさんの地域でも"ふくしのミライ"について考える場を作っていただければと思います。



皇學館大字教育開発センター 副センター長 板井 正斉

## 「もしかして認知症?」と思ったら…

厚生労働省の発表によると、日本において、認知症の患者数が2012年時点で462万人と言われており、 2025年には700万人、65歳以上高齢者の約5人に1人に達すると見込まれています。今や認知症は誰もが関わ る可能性のある身近な病気です。早期に発見し、適切な対処をすることが望まれます。

## そこで!!

## 認知症初期集中支援チームが支援を行います!

今年度4月、亀山地域包括支援センターの「認知症初期集中支援チーム」に専門職員を配置しました。 認知症の方や、その心配のある方、また、そのご家族の自宅に訪問し、日頃の生活についての困りごと や、心配などを伺っています。適切な医療や介護サービスの利用を一緒に考え、その人らしい生活を続け られるよう支援します。



より専門的に、じっくりお話を お伺いします。

#### ◎サポート医

田中英樹 医師 (田中内科医院) 高橋好夫 医師 (高橋内科クリニック) 入川拓平 医師 (豊田クリニック)

山本政和 医師 (亀山市立医療センター)



## )支援の流れ・・

家族、民生委員·児童委員 ケアマネジャー、かかりつけ医など





亀山地域包括支援センター「きずな」

#### かかりつけ医



③相談

#### 認知症専門医療機関



連携

#### ④助言・指導

#### 認知症初期集中支援チーム



#### ①初回訪問

- ◆認知症程度の確認
- ◆身体状況の確認
- ◆認知症に関する 情報提供

#### ②チーム員会議

◆支援の方向性を確認



#### ⑤支援の実施

- ◆生活・介護指導
- ◆受診勧奨
- ◆介護保険サービ ス利用の勧奨
- ◆かかりつけ医と の連携など

#### ⑥チーム員会議

- ◆初期集中支援修了の 判断
- ⑦ケアマネジャー などへの



## 認知症サポーターに なりませんか?

地域や職場で認知症の人やその家族を見守り、寄り添い、 支え合う認知症サポーター養成講座を開催します。

と き 7月30日(火) 午前10時~11時30分 (午前9時30分受付開始)

ところ 総合保健福祉センターあいあい 2階大会議室

対 象 認知症に興味のある方

参加料 無料

申込みメ切 7月19日(金)

申込み方法 亀山地域包括支援センターへ 電話または直接申込みください。

※ 10 人以上のグループへは、出張開催も可能 です。お気軽にご相談下さい。







## 認知症サポーターとは

認知症サポーター養成講座を受講した方のことを、「認知症サポーター」と呼びます。

認知症サポーターは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、地域や職場で認知症の人やその家族を見守り、寄り添い、支え合うことなど、できることから始めてください。

認知症サポーターには、「認知症の方を応援 します」という意思を示す目印である「オレン ジリング」が進呈されます。



まずはお電話·窓口でご相談ください **亀川地域包括支援センター「きずな**」 **☎**0595-83-3575

(市総合保健福祉センター「あいあい」①窓口)

## 認知症のチェックをしませんか?

こんなことはありませんか?

▼ 同じことを何度も聞いたり、話したりする

▼ 知っている人の名前が思い出せない

▼ 物をしまった場所を忘れる

▼ 今しようとしていたことを忘れる

携帯電話・スマートフォンでバーコード 対応の機種をお持ちの人は、下のバー コードをご利用ください。

(亀山市ホームページから外部へリンクします)



#### ●嘱託職員を募集します

●職 種 相談員 (認知症高齢者、知的・精神障がい者の金銭管理 サービス支援を行う日常生活自立支援事業)

- ●採用人数 1名
- ●応募資格
  - ・心身共に健康で、社会福祉の仕事に理解のある方
  - ・普通自動車運転免許を所有または、採用時ま でに取得見込の方
- ●試験の日時・場所 と き 令和元年8月中旬頃(予定) ※受付後に連絡します。

ところ 亀山市総合保健福祉センターあいあい 内 容 面接試験

●申込方法 履歴書(市販のもの)及び資格を有 することを証明できる書類の写し(運転免許証 等)を提出してください。

申込期限:令和元年7月31日(水)まで

- ●採用予定日 令和元年9月1日 (予定であり、採用日については要相談)
- ●問い合せ先 総務係 ☎0595-82-7985
- ※詳しくは亀山市社会福祉協議会ホームページ をご覧ください。

## ●新入職員紹介

福吉 真希 (地域福祉係)

【好きなこと】釣りに行くこと。 綺麗な景色を探して旅行する こと。

【ひとこと】地域福祉係に配属 されました。早く仕事を覚え られるよう頑張ります。よろし くお願いします!



## ●平成31年度赤十字活動資金に ご協力ありがとうございました

皆様にご協力いただきました赤十字活動資金 は、各地でおこる災害や国際的な救援活動、また 血液事業などの医療事業等に役立てられます。

今後ともご理解ご協力いただきますよう、よろ しくお願いいたします。

### ●福祉・介護・看護の就職フェア

福祉・介護・看護の仕事をお探しの方を対象に 就活応援セミナーと就職相談会を開催します。

日時:令和元年7月21日(日)

10時30分~13時「就活応援セミナー」

13時~15時30分「福祉・介護・看護の就職フェア」

会場:メッセウイングみえ

(三重県津市北河路町19-1)

対象:福祉・介護・看護の職場に就職希望、また

は関心のある一般・学生

※津新町駅から無料シャトルバス運行。

※託児室あり<予約制 7/12(金)締切>

#### 【申込み・お問合せ】

- 三重県社会福祉協議会
- 三重県福祉人材センター
- **☎**059-227-5160



### 意 の 寄 付 (平成31年3月1日~令和元年6月1日まで)

株式会社スズカ様、亀山市立白川小学校6年学級会計様、亀山市立亀山東小学校、鈴木光昭様、 かめやま整体様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させて頂きます。厚くお礼申し上げます。

#### **畠山市の福祉指数**(令和元年6月1日現在)

市総人口 49,678人 65歳以上の人口 13,122人(男性5,865人 女性7,257人)

世帯数 21,489世帯

18歳以下の人口 8,858人(男性4,569人 女性4,286人)

高齢化率 26.4%

株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)

#### 発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP http://kameyama-shakyo.or.jp

facebook http://facebook.com/kameyama.shakyo

## \facebookにて最新情報お届け中!/



亀山社協



"∎️」いいね!" お待ちしています♪